

VII 交通事故・違反防止のワークシート

ハンドルを握るときは、運転に集中し、常に危険を予測した安全運転をしましょう

あなたは次のような傾向があると人から言われたことや、自覚したことはありませんか？

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ① 感情の起伏が激しい | ② せっかちで、すぐにイライラする |
| ③ 自己中心的でわがまま | ④ 些細なことを気にしたり、緊張しやすい |
| ⑤ 几帳面さに欠け、いいかげん | ⑥ 他人に格好良く見せたがる |

人の性格には、いくつかのタイプがあり、情緒の安定度、協調性、我慢強さ、几帳面さなどが運転に影響を及ぼして事故を起こす要因になるといわれています。自分自身の性格をよく把握して、事故に結びつきやすい傾向が運転中に現れないように心掛け、事故を未然に防ぎましょう。

また、誰にでも体調不良、疲労、睡眠不足など、自動車の運転に危険な状況があります。このような場合には、一層安全運転に心掛け、事故を未然に防止しなければなりません。また、気分が良くハイテンションな場合にもリスクは潜んでいます。

次の表は、性格要因を横軸、体調・精神要因を縦軸に取り、予想される運転状況(リスクを含む)とその対策を考えてもらうものです。それぞれの欄に記入してください。

【運】：予想される運転の状況 【対】：とるべき対策

	体調が良い・気分が良い・ハイテンション	
【第3領域】		【第1領域】
内向的 ・のんびり ・防衛的	【運】	【運】
	【対】	【対】
	【運】	【運】
	【対】	【対】
	体調が悪い・気分が悪い・ローテンション	
【第4領域】		【第2領域】
		外向的 ・せっかち ・攻撃的

解答例を記述しておきます。よく自己を見つめ対応できるようにしてください。

【第1領域】

外向的・せっかち・攻撃的な性格の人が体調・気分が良くハイテンションな場合には、運転が荒っぽくなり、他の通行者への配慮が欠ける運転になりがちです。黄色信号（場合によっては赤信号）を無視して交差点に進入したり、無理な追い抜きや車線変更を絶対にしないよう心掛けてください。常に走行速度に注意を払い、速度超過しないよう気をつけてください。

【第2領域】

外向的・せっかち・攻撃的な性格の人が体調・気分が悪くローテンションな場合には、投げやりな運転になり、細部への注意が欠けがちになります。赤信号や交通標識を見落としたり、一つのことに気を取られて、ブレーキが遅れることが無いように十分注意して運転することが求められます。

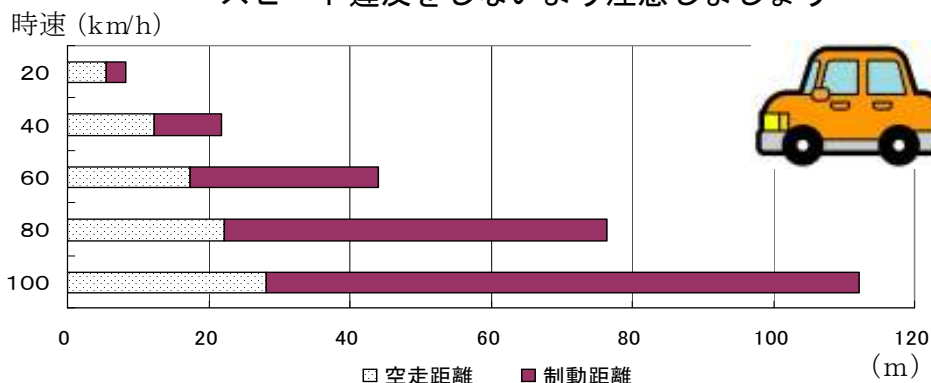
【第3領域】

内向的・のんびり・防衛的な性格の人が体調・気分が良くハイテンションな場合には、交通の流れに応じた、落ち着いた運転が期待でき、比較的风险は少ないと思われます。しかし、この性格の人には、とっさのときの対応能力が低い場合があるので、常に周囲の状況に気を配り、危険を予測する運転に心掛けてください。

【第4領域】

内向的・のんびり・防衛的な性格の人が体調・気分が悪く、ローテンションな場合には、交通の流れを無視してノロノロ運転になったり、走行速度が安定せず、気分に応じて速度が変化したり、蛇行運転になる場合があります。注意力が低下しますので、瞬時の対応能力がさらに低下します。運転するときは気分を切り替えて、運転に集中して、メリハリのある運転をする必要があります。

スピード違反をしないよう注意しましょう



(財団法人全日本交通安全協会『交通の教則』より作成)

時速50kmで2秒間ほど脇見運転すると、車は30m近く進んでしまいます。上の図のように、速度が増すほど車はなかなか止まれません。大きな事故を起こすことが無いように、安全運転に心がけてください。